

年表

1928年2月5日	長崎市に生まれる。
1944年7月～8月	三菱重工業長崎造船所に学徒動員。
1945年1月～8月	三菱重工業長崎兵器製作所大橋工場の構板工場で魚雷の接合環を施盤で切削。
8月9日	工場内で作業中、原爆被爆。
1952年3月	東京商科大学（一橋大学）卒業。長崎大学助手。
1957年4月	長崎大学講師。のちに助教授・教授を歴任。経済学史・社会思想史。
1962年3月	原水爆禁止運動で長崎地域の教育宣伝担当。バートランド・ラッセルとの文通を70年2月病没までつづける。
1966年8月	バートランド・ラッセル平和財団日本資料センター設立。
1968年7月	『20世紀の良心』、理論社より出版。
1977年9月	スペイン国営放送で「核戦争の危機」番組に出演。
1979年11月	朝鮮人被爆者実態調査団員として長崎で調査。
1980年9月～10月	プリンストン大学に短期研修。
1982年2月	米誌『原子科学者評論』に英文論文掲載。『反核と戦争責任』を三一書房より出版。
1983年4月	長崎大学教養部に「平和講座」開設。世話人。
1985年10月	部落解放基本法制定要求長崎県実行委員会委員長。
1986年～88年	長崎大学経済学部長。
1986年8月	東ドイツの市長招待でベルリンなどを訪問。
1987年7月	「北朝鮮」社会科学者協会の招待でピョンヤン訪問。
1988年12月	長崎市長の「天皇の戦争責任」発言。市民の会代表。
1992年6月	「金順吉裁判を支援する会」共同代表。
1993年3月	長崎大学名誉教授。
1997年2月	原水禁日本国民会議議長。
1998年7月	『戦争責任と核廃絶』を三一書房より出版。
1999年5月	「ハーグ平和アピール国際市民会議」参加。
10月	「フォーラム平和・人権・環境」結成。代表のひとりに選出。
2001年1月	『これが天皇を中心とした「神の国」日本だ 国民精神総動員実施概要』を長崎県平和・労働センターより出版。
2007年4月	原水禁国民会議議長退任。顧問に就任。